

アニメのタイプ(レーダーチャート)について

はじめに

私のブログに訪問してくださり、本当にありがとうございます。

さて、私の作成するアニメ感想記事では、アニメのタイプを評価しています。タイプについては6つの項目があり、それぞれ5段階評価です。

アニメを評価するときは一般的に、作画やキャラクターなどの評価項目があるのが主流です。しかし、私はそのような、アニメに点数をつけることができるような評価をしません。

※感想の中で作画を絶賛したり、キャラの魅力について語ることはありますが、他のアニメと比較できるような値(点数など)はつけない方針です。

私が評価するのは、「難解さ」、「テンポ」、「SF 要素」、「グロ」、「エロ」、「ギャグ」の6項目です。

ゲームでいうところの火属性、水属性、雷属性といったイメージです。料理でいうところの和食、洋食、中華といったイメージです。

面白いとか、作画が美しいとか、そういった評価ではないということです。そのため、「この要素が強いから良作」と断定できるものではありません。

未視聴の方は、そのアニメが「自分にとって合うか合わないか」の判断基準にできるものだとお考えください。

それでは、次のページからは、各項目についての簡単な説明をします。

■ 難解さ

ストーリーの難しさを表しています。内容の理解が難しく、考察すべきことが多いアニメほど、5 に近づきます。

1 は誰でも簡単に理解できるようなアニメです。5 はネット記事や SNS などを使って真剣に理解しようとしないと、意味不明なまま終わってしまうようなアニメです。難しいアニメが苦手な方は、4 以上に注意してください。

■ テンポ

ストーリーの展開の平均的な速さを表しています。先へどんどん進んでいくアニメほど、5 に近づきます。

1 は引き延ばしが目立つアニメです。5 はダイジェスト感のあるアニメです。この項目に限っていえば、1 と 5 はネガティブな評価に近いですが、最終的には個人の好みの問題です。

■ SF 要素

ストーリーや舞台の SF 要素の強さを表しています。SF 要素とは、異世界もの、ループもの、幽霊や鬼などを指しており、こうした要素が多いアニメほど、5 に近づきます。

1 は現実的な要素ばかりのアニメです。5 はファンタジーの世界で魔王と戦ったりするようなアニメです。現実離れしている要素が苦手な方は、3 以上に注意してください。

グロ

残虐描写の多さや強さを表しています。例えば、殴られて出血するような軽いものから、首が吹っ飛ぶような重いものまで該当します。こうした要素が目立つアニメほど、5 に近づきます。

1 は出血もないようなアニメです。5 は視聴がつかなくなるほどグロテスクなアニメです。グロ耐性には個人差がありますが、4 以上は注意してください。

エロ

性的描写の多さや強さを表しています。例えば、パンチラのような軽いものから、地上波では放送できないような重いものまで該当します。こうした要素が目立つアニメほど、5 に近づきます。

1 は誰でも安心して見ることができるアニメです。5 は非常に過激で放送できないようなアニメです。エロい要素が苦手な方は、4 以上に注意してください。

ギャグ

笑わせる要素の多さや強さを表しています。ゲラゲラと笑えるようなアニメほど、5 に近づきます。

1 は笑える場面がほとんどないようなアニメです。5 はギャグアニメか、それに匹敵するくらい大笑いできるアニメです。1 と 2 はシリアスなアニメである可能性が高いので、苦手な方は注意してください。